



要 請 書

大強度陽子加速器施設 J-PARC において発生した放射性物質漏えい事故は、県民の原子力施設に対する信頼を大きく揺るがすものとなりました。

今回の事故を教訓として、二度と同様の事故を繰り返すことのないよう、再発防止策の徹底はもとより、安全文化のさらなる醸成に向けた一層の取組が強く望まれるところであります。

J-PARC は、世界最高性能を誇る大型加速器施設であり、科学技術創造立国日本を支える我が国有数の研究開発拠点として、新産業・新技術の創造に大きく貢献することが期待されております。

については、J-PARC 施設の運転再開にあたり、改めて、下記事項について、特段の対応を強く要請するものであります。

記

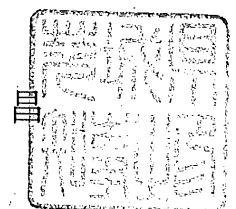
- 1 「安全が全てに優先する。」との基本理念のもと、職員一人ひとりの徹底した意識改革を図り、安全管理体制のさらなる改善に向けた不断の取組を継続して実施していくこと。
- 2 施設の運転状況や安全性に関する情報公開を徹底し、国民に開かれた組織運営を図ること。
- 3 J-PARC を活用した研究の目標やその成果、さらには国際的な研究拠点として期待される役割などについて、国民への積極的な情報発信を行い、理解の促進に努めること。

平成 25 年 12 月 25 日

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
機構長 鈴木 厚 人 殿

茨城県知事

橋 本





要 請 書

大強度陽子加速器施設 J-PARC において発生した放射性物質漏えい事故は、県民の原子力施設に対する信頼を大きく揺るがすものとなりました。

今回の事故を教訓として、二度と同様の事故を繰り返すことのないよう、再発防止策の徹底はもとより、安全文化のさらなる醸成に向けた一層の取組が強く望まれるところであります。

J-PARC は、世界最高性能を誇る大型加速器施設であり、科学技術創造立国日本を支える我が国有数の研究開発拠点として、新産業・新技術の創造に大きく貢献することが期待されております。

については、J-PARC 施設の運転再開にあたり、改めて、下記事項について、特段の対応を強く要請するものであります。

記

- 1 「安全が全てに優先する。」との基本理念のもと、職員一人ひとりの徹底した意識改革を図り、安全管理体制のさらなる改善に向けた不断の取組を継続して実施していくこと。
- 2 施設の運転状況や安全性に関する情報公開を徹底し、国民に開かれた組織運営を図ること。
- 3 J-PARC を活用した研究の目標やその成果、さらには国際的な研究拠点として期待される役割などについて、国民への積極的な情報発信を行い、理解の促進に努めること。

平成 25 年 12 月 25 日

独立行政法人日本原子力研究開発機構
理事長 松浦 祥次郎 殿

茨城県知事 橋本

